

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 工業 科目 デザイン実習

教科：工業 科目：デザイン実習 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 4組

教科担当者：浅井、大槻、鈴木、高木、中江田、中西

使用教科書：（工業735 デザイン実践 ）

教科 工業 の目標：

- 【知識及び技能】デザインの基礎的基本的知識や技術を習得する
- 【思考力、判断力、表現力等】いろいろな事柄に対して疑問を持ち、解決手段を導き解決し、提案できる
- 【学びに向かう力、人間性等】人々の生活の快適さを考える姿勢と学習する必要性を自覚し取り組む姿勢

科目 デザイン実習 の目標：デザインに関する基礎的な技術を実験や実習によって体験し、各種デザインの興味・関心を高め、工業の発展をはかる上でのデザインの意義や役割を理解させ、広い視野と倫理観を養い、意欲的な態度を身につけさせる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野におけるデザインの意義や役割及び理論を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	デザインにおける現在の産業社会に与える影響に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき、解決する力を養う。	デザイン分野において人々の生活の質の向上を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具や作業着を配布し、管理使い方のレクチャー</li> <li>・授業の心得説明</li> <li>・教材確認</li> <li>・一人1台端末の確認 等</li> </ul>	出席・授業態度等			○	3
前半ローテーションは1クラス4班編成で、デザインの基礎を学ぶ。						
Illustrater基礎	Illustrator基礎的操作（スプライン曲線・ショートカット・ファイルサーバーとの接続・保存方法・コピー・ブレンド・変形・パス・アウトライン化 カラー（3原色 Lab）） <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作品 ダイレクトメールの制作</li> <li>・ソフト説明</li> <li>・コマンド使用方法説明</li> <li>・作品構成検討</li> </ul>	前半ローテーションの評価方法 デザイン実習の学習目標をよく理解し、実習に意欲的に取り組み、どれほどの成果を身につけたかを評価する。 【知識・技能】 学習目標をよく理解し、授業で得た知識・技術を用いて、より効果的な使用方法で作品制作で使用できるか。毎時間の実習内容や課題についてレポートにまとめて提出させ、その内容と考察等について評価する。 【思考・判断・表現】 課題の意図を理解し、問題解決に対し筋道を立てて考え、表現できているか、提案できているか。また、調査・分析ができているか。完成作品の美しさと考え方、説明（プレゼンテーション）する力を総合して評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
PhotoShop基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・透視図の描き方</li> <li>選択キー ダイレクト選択キー</li> <li>セグメント アンカー切り替え</li> <li>・ソフト説明</li> <li>・コマンド使用方法説明</li> <li>・写真加工方法（トーンカーブ、変形、レイヤー加工等）</li> <li>・作品制作</li> <li>・作品構成検討</li> </ul>	課題の意図を理解し、問題解決に対し筋道を立てて考え、表現できているか、提案できているか。また、調査・分析ができているか。完成作品の美しさと考え方、説明（プレゼンテーション）する力を総合して評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
立体構成の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石塑粘土で作る立体</li> <li>・ペーパークラフト</li> <li>・一人1台端末の活用調査・プレゼン資料等制作 等</li> </ul>	出席状況、作業過程での取り組む姿勢、生徒の自己評価、相互評価を参考とする。これらを総括評価して5段階評定値とする。	○	○	○	12
定期考査		実施せず				

2 学 期	平面構成の基礎	・デッサンの基礎 手、紙コップ、石膏（基本形： 立方体、球など）形の取り方、陰 影のつけ方、質感の表現等		○	○	○	12	
	後半ローテーションはビジュアルデザインとプロダクトデザインの履修パターンに分かれて学ぶ。							
	ビジュアルデザイン	Illustrator・Photo Shopを使用 し、平面系の作品を制作 写真撮影の基礎 動画制作の基礎  ・一人1台端末の活用プレゼン資 料等制作 等	後半ローテーションの評価方法 デザイン実習の学習目標をよく理解し、実 習に意欲的に取り組み、どれほどの成果を身 につけたかを評価する。 【知識・技能】 学習目標をよく理解し、授業で得た知識・技 術を用いて、より効果的な使用方法で作品制 作で利用できるか。毎時間の実習内容や課題 についてレポートにまとめて提出させ、その 内容と考察等について評価する。 【思考・判断・表現】 課題の意図を理解し、問題解決に対し筋道を 立てて考え、表現できているか、提案できて いるか。また、調査・分析ができているか。 完成作品の美しさと考え方、説明（プレゼン テーション）する力を総合して評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、作業過程での取り組み姿勢、 生徒の自己評価、相互評価を参考とする。 これらを総括評価して5段階評定値とする。	○	○	○	12	
	プロダクトデザイン	立体造形の基礎 プロダクトデザインの基礎 立体造 形の基礎 プロダクトデザインの基礎  ・一人1台端末の活用プレゼン資 料等制作 等	後半ローテーションの評価方法 デザイン実習の学習目標をよく理解し、実 習に意欲的に取り組み、どれほどの成果を身 につけたかを評価する。 【知識・技能】 学習目標をよく理解し、授業で得た知識・技 術を用いて、より効果的な使用方法で作品制 作で利用できるか。毎時間の実習内容や課題 についてレポートにまとめて提出させ、その 内容と考察等について評価する。 【思考・判断・表現】 課題の意図を理解し、問題解決に対し筋道を 立てて考え、表現できているか、提案できて いるか。また、調査・分析ができているか。 完成作品の美しさと考え方、説明（プレゼン テーション）する力を総合して評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、作業過程での取り組み姿勢、 生徒の自己評価、相互評価を参考とする。 これらを総括評価して5段階評定値とする。	○	○	○	12	
定期考査	実施せず							
3 学 期	ビジュアルデザイン	Illustrator・Photo Shopを使用 し、平面系の作品を制作 写真撮影の基礎 動画制作の基礎 ・一人1台端末の活用プレゼン資 料等制作 等 講評会		○	○	○	12	
	プロダクトデザイン	立体造形の基礎 プロダクトデザインの基礎  ・一人1台端末の活用プレゼン資 料等制作 等	学年の評価方法 各学期の5段階評定値を総合評価して、単 位認定の5段階評定値とする。	○	○	○	12	
								合計
								99
定期考査	実施せず							